

市立函館病院に通院・入院中または過去に通院・入院された
患者さままたはご家族の方へ

当院では、下記の研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の連絡先へお問い合わせください。

2024年11月06日

研究課題名	非ウイルス性肝細胞癌の予後を増悪させる糖尿病関連エピジェネティクスの解明
研究機関名 長の氏名	弘前大学大学院医学研究科・研究課長 石橋 恭之
研究責任者名 所属	山田 貴大・弘前大学大学院医学研究科 消化器外科学講座
既存試料・情報の提供のみを行う機関名 長の氏名	市立函館病院・病院長 森下 清文
[多機関共同研究] 研究代表者	なし
[多機関共同研究] 共同研究機関名 研究責任者名	なし
研究の目的	糖尿病患者さんでは肝癌の発生率が高く治療成績も悪いことが知られています。私たちは、糖尿病が肝癌を悪化させるメカニズムに、エピジェネティクスという遺伝子修飾機構が強く影響していると予想し、これらの関係性を明らかにしようと考えています。
研究の方法	〈対象となる患者さま〉 2005年1月1日～2020年12月31日までの間、市立函館病院消化器外科で肝細胞癌に対して手術を受けられた方。 〈利用する情報〉 カルテの記載内容、病歴、年齢、性別、身長、体重などのデータ、内視鏡結果、画像情報、手術情報、病理所見、再発・死亡などの術後情報を利用します。また、手術で摘出した臓器で組織学的な検討も行います。具体的には、糖尿病の有り無しで患者さまを2グループに分けてデータの比較を行います。また癌に発現するタンパク質に加えて、microRNA、メチル化といったエピジェネティクス機構がどの程度影響しているかを測定したりします。
研究実施期間	2023年12月（情報の提供開始日：2024年11月頃）～2025年3月
他の研究機関への 試料・情報の提供	他の機関（弘前大学大学院医学研究科）への試料・情報の提供を行います。
外国への 試料・情報の提供	なし

個人情報の取扱い	<p>この研究に関する資料やご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さまの個人情報や研究に支障となる事項以外はお知らせすることができます。</p> <p>研究に利用する患者さまの情報に関して、お名前、住所など、患者さま個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用いたしません。</p>
連絡先・相談窓口	<p>北海道函館市港町1丁目10番1号 市立函館病院 病理診断科 棟方 哲 電話：0138-43-2000（代表）</p>